



松井まちづくり協議会広報紙

まついむら

「自治交流」「健康福祉」「安心安全」「環境自然」「文化体育」

創刊号

発行日 平成26年10月25日
発行 松井まちづくり協議会
事務局 松井まちづくりセンター
TEL 04-2994-1259

『地域自治力を高め』、絆を紡ぐまちづくりを推進 松井まちづくり協議会がスタート

7月5日（土）松井まちづくり協議会設立総会及び記念祝賀会が藤本正人所沢市長、本橋源一所沢市自治連合会長、地区在住市議会議員、各地区自治連合会長、地区内小中学校長ら多数の来賓を招き、29の構成団体の皆さん、公募市民の皆さんを含め150名を超える出席者により盛大に開催されました。

近年、少子高齢化、核家族化などの社会環境の変化に伴って、地域コミュニティの機能が大きく低下する一方で、地域の安全・安心、環境への取組、介護や子育てなどが社会問題となっており、行政が緊急に取組むべき課題となっています。しかしながら、これらの課題解決への取組みには、従来の行政組織だけでは対応が困難になってきており、地域挙げての取組みと関係機関との連携が必要となりました。このため地域住民が地域の繋がりを形成しながら、地域自治としての地域課題への取組みができるよう各行政区にまちづくりセンターが新たに設置されました。

これらの取組みの実効性を実現するため、各行政区に地域のさまざまな団体等で構成する『地域ネットワーク組織』を構築し、地域が抱える問題や課題を発見し、その課題等の解決に取り組むとともに、地域の交流活動などを通じたコミュニティの活性化、あるいは新たな団体の発掘や育成を図っていくこととなりました。

松井地区では、20回を超える準備会議などを経て、ようやく『松井まちづくり協議会』が設立され、「地域のことは地域で決める」という基本的な考えのもとに、地域コミュニティを支えるさまざまな活動を繋ぐ新たな仕組みがスタートしま



した。

「設立総会」では、越阪部四一郎設立準備会代表から、「設立総会を開催できたことは、大きな喜びであり、会長を中心に所沢一番の協議会にしてほしい」とあいさつがあり、須田静男まちづくりセンター長の協議会設立までの経過報告に続き、議事は安田敏男松井地区自治連合会長が議長となり進められ、会則制定、役員選任、事業計画案・予算案などの議案が全会一致で承認され、『松井まちづくり協議会』は設立されました。

来賓のあいさつでは、藤本市長から「設立までのご労苦に敬意と感謝を申し上げます。今、犬のフンの処理などやたら行政に頼りすぎる社会になってしまい、協議会で自治力をアップしていただけたらありがたい。」とのあいさつがあり、続いて本橋自治連会長、越阪部征衛、安田義広、中村太、吉村健一、各市議から祝辞がありました。

「記念祝賀会」では、藤本市長、越阪部名誉会長の祝辞の後、おいしい料理をいただきながら、お祝いの美酒を酌み交わし、来賓の方々、構成団体の皆さんが、さまざまに情報交換を行い、交流の輪を広げました。



写真上 総会出席者全員で記念写真

写真左 祝辞を述べる藤本市長

写真右 越阪部四一郎氏から特別寄附金が贈呈されました

松井まちづくり協議会役員

設立総会において、次の方々が協議会役員として選任されました。役員一同「住んで良かった松井地区」を目指して頑張ってまいります。

役 職	氏 名
名誉会長	越阪部四一郎
顧問	森田道昭
顧問	二村兼弘
会 長	安田敏男
副会長（自治交流部会）	中村晴一
副会長（健康福祉部会）	鈴木公子
副会長（安心安全部会）	越阪部國昭
副会長（環境自然部会）	池田一美
副会長（文化体育部会）	田村信男
事務局 長	上田之雄
広報委員 長	齋藤徹

役 職	氏 名
相談役	荒川 広
相談役	越阪部 征衛
相談役	安田 義広
相談役	中村 太
相談役	吉村 健一
監 事	宮澤 義和
監 事	越阪部 芳加
会 計	石井 福雄
会 計	久保田千恵子



協議会の今後の取組み



協議会では、第1回役員会を開催して、設立総会で承認された平成26年度事業計画を具体的に推し進めていくことを決定しました。

今まで松井地区自治連合会や松井まちづくりセンター協力会（旧松井公民館協力会）を中心に実行委員会で開催していた「松井地区みんなで長生きを祝う会」、「所沢市松井地区成人のつどい」などの6事業を協議会主催又は共催事業として継承していきます。また、松井地区に残る文化歴史、自然環境遺産保全事業として、上安松村古地図保全事業なども行っていきます。

その他、地区住民の共助、共育、共学、共遊、共働事業を推し進めるため、関連団体と地区住民の間の共働及び情報共有事業と自治力及び交流力向上、一般市民の声を反映するために夏季懇談会開催事業を進めていきます。

◆主催・共催事業

松井地区新年祝賀会
所沢市松井地区成人のつどい
松井地区みんなで長生きを祝う会
松井地区文化祭
松井地区スポーツフェスティバル
松井地区ウォークラリー大会

◆文化歴史保全事業

松井地区内古地図保全事業
文化歴史遺産認定事業
自然環境遺産認定事業

◆共助、共育、共学、共遊、共働事業

広報紙発行事業、視察研修事業

◆自治力及び交流力向上事業

夏季懇談会開催事業

などを予定し、それぞれの部会で今後の具体的な活動を練っていきます。

【部会の紹介】

自治交流部会……自治会・町内会活動の推進・加入促進
地域公民館活動交流の推進

健康福祉部会……地域住民の健康増進、福祉の向上

安心安全部会……交通安全の推進、登下校の安全確保・見守活動
防犯・防災・防火に関すること

環境自然部会……生活環境の改善・向上、みどりと河川の保全

文化体育部会……文化・教養の向上、体育・スポーツの振興
青少年の健全育成、教育環境の整備



皆さまから松井地区の文化歴史遺産・自然環境遺産を募集します！

松井地区には数多くの歴史的な神社仏閣や名所旧跡などが残っています。そこで皆さまから文化歴史遺産や自然環境遺産として募集します。まちづくり協議会で検討の上、認定していく予定です。募集要領は次のとおりです。

◇応募方法……平成27年1月31日までに応募用紙を松井まちづくりセンターへ直接持参してください。募集要領、応募用紙は松井まちづくりセンターに備え付けてあります。

◇お問い合わせ……松井まちづくりセンター（04-2994-1259）

松井まちづくり協議会では、自治会・町内会加入促進に取り組んでいます

「自助」「共助」「公助」によるまちづくりの重要性が増す中、住民同士の親睦、生活環境の維持等の活動のほか、高齢者の見守りや子供の安全対策等に取組み地域の団体や行政と連携して地域課題の解決、住みよいまちづくりを目指す自治会・町内会を応援しています。

是非、自治会・町内会へ加入しましょう。加入は簡単、お近くの人にお声掛けを。

『まちづくりは……みんなのために』 =自治力&役人力の向上

まちづくりセンターができて丸3年が経った2014年7月5日に『松井まちづくり協議会』の設立総会が、150名を超える松井地区を動かし支えている関係者にお集まりいただき、盛大に開催することができました。この間、「まちづくりセンターってなあに」「松井地区の予算学習会」などの勉強会を開き、松井地区を知るとともに松井らしさを探求してきました。



設立した『協議会』は、「松井のことは松井で決めよう」という目標に向かってみんなで話し合う組織であり、「自治力と交流力」の向上により、住んで良かったといえる松井地区づくりに取り組んでまいります。

松井地区には現在、自治連や民生委員などの行政協力団体はじめ、多くのボランティア団体、文化交流サークルがあり、それぞれが目的に向かって活動しております。幸いなことに、松井地区には豊かな経験を積んだ先輩も多く、また、熱くボランティア活動に燃える組織団体のトップリーダーが大勢いますので、その英知を結集し、マンネリズムの無駄を省き、団体の既得権益を守るのではなく、新しい有意義な活動プランに挑む「協議会」を目指すために、団体代表者だけでなく公募市民も市内で初めて募りました。

市民のための組織運営を目指すには、情報公開による「情報共有」は重要であり、ネーミング公募して決まった協議会だより『まついむら』を通じて広報活動をすすめ、自治会・町内会の加入促進やサークル団体等への参加啓蒙等、そして誰もが『知って得する情報』をお届けしたいと願っていますので、ご意見ご提案等もお寄せいただければ幸甚であります。

市役所に何かしてもらおう『お願い』より、行政と一緒に……動かしてみませんか

松井の空に松井まちづくり協議会の旗をなびかせよう！

巻頭の広報紙名左肩の「井桁に松」のロゴマークにお気づきですか。これも松井地区では由緒ある文化歴史遺産です。すでに松井地区自治連合会では、このロゴマークを使用した連合会旗などを作成し、連合会行事などで掲げています。

松井まちづくり協議会でも、このロゴマークの協議会旗を作成し、松井まちづくりセンターで国旗や所沢市旗と並揚させることとしました。まさに、「地域のことは地域で決める」旗印として掲揚いたします。



「井桁松」ロゴマークを使用した連合会旗の例

編集後記

松井まちづくり協議会広報紙「まついむら」の発刊にこぎつけました。協議会の発展や進むべき方向は広報紙によるところが大きいなどの期待感、読まれる広報紙作りの使命感と、発行前からの重圧に耐えながら、4つの紙面を文字や写真で埋めることができました。

創刊号は設立総会開催に伴うやや固めの記事が中心となりましたが、すでに次号発行にむけて動き出しました。

読まれ親しまれ、ともに歩いていける協議会広報紙「まついむら」づくりに、広報委員一同覚悟を決めました。(とおる)

広報委員メンバー

委員長	齋藤 徹
委員	久保田千恵子
委員	赤坂 悦
委員	藤原 仁子
委員	内海 喜明
委員	安田アエ子
事務局	須田 静男
事務局	小暮 規子